



社協だより

ふれあいネットワーク
326

発行 八幡西区社会福祉協議会

子どもたちの 健やかな成長を 願って



新1年生に ランドセルカバーを 贈呈しました

地域の宝である子どもたちの安全と健やかな成長を願って、赤い羽根共同募金の配分金より、八幡西区内の小学校に入学する新1年生にランドセルカバーを贈呈させていただきました。カバーには、北九州市社会福祉協議会のマスコットキャラクター「プチボザウルス（ほんのちょっとのボランティアの意味）」をデザインしています。

地域全体で子どもたちの成長を見守る、温かいまちづくりにご協力をお願いいたします。

主任児童委員は、主に子どもや子育てに関する相談に応じ、様々なサポートを行っています。地域の身近な相談相手となり、関係機関との「つなぎ役」として子どもたちが元気に安心して学校生活を送れるように見守っています。



地域の主任児童委員が 学校へお届けしました



共同募金は、この広報紙発行にも役立てられています。

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金運動は、自治会区・校(地)区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会、企業や学校、関係機関や多くの住民の皆さまにより支えられています。皆さまからの浄財は、区内33校(地)区社協で取り組まれている、ふれあいネットワーク活動をはじめ、青少年の健全育成、ボランティアの養成や活動支援、障害のある方や子育て世帯、高齢者などの幅広い福祉活動を支援し、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりに役立てられています。



▲子どもたちに伝えたい、ふれあいネットワーク活動
～できる人ができることを少しずつ～ 上津役校区



▲三世代交流ふれあい餅つき大会
～みんなで協力してお餅を丸めます～ 光貞校区

令和6年度募金実績(八幡西区)

- 一般募金 **10,004,187円** 内 八幡西区社会福祉協議会への配分金 **6,541,700円**
- 歳末たすけあい募金 **6,729,267円** 内 八幡西区社会福祉協議会への配分金 **6,729,267円**



▲茶売なごやかサロン活動～体操で、心も体もリフレッシュ～ 熊西校区

「いつも一人だからお話ができて楽しい」と言われ
うれしい気持ちになりました

▶福祉情報紙「お元気ですか？」
を手に見守り活動に参加する
ウエルクラブの子どもたち

永犬丸西校区



～全校(地)区で自己点検を行いました～

校(地)区社協では、1年間の活動内容について振り返るとともに、支援の基盤を点検する作業を年度末に行っています。

これは、赤い羽根共同募金や賛助会費、ご寄付など、大切な財源を適正に活用し、より良い支援につなげるための大切な取り組みです。

社協の活動は、地域の皆さまのご協力によって支えられています。



▲職員と一緒に6つの地域力を振り返る 黒畑校区

▲令和6年度版 自己点検シート



共同募金は、この広報紙発行にも役立てられています。



▲「お元気ですか？」に手書きのメッセージをそえます

一人ひとりを大切にする地域づくり

則松校区

則松校区社協では、地域で支え合う取り組みとして、見守り対象者の方に誕生月に花鉢をお届けする活動を続けています。毎年楽しみにしている方も多く、「いただいた花を庭に植えて育てています」と、これまでの贈り物を大切にされている様子が伺えました。

また、地域のサロン活動も活発で、参加者同士が自然と声をかけ合い、新たな仲間を迎え入れています。「最初は一人で参加しましたが、今では誘い合って来るようになりました」と笑顔で話す方も。こうした小さなつながりが、地域の中で少しずつ広がっています。

さらに、見守り訪問時にお渡しする福祉情報紙「お元気ですか？」に添えられた一言メッセージも心温まる交流のひとつです。「手書きの文字を見ると、気にかけてもらっていると感じる」と喜ばれる方も多いそうです。

こうした取り組みは、物を届けるだけでなく、心のつながりを深める大切な支援となっています。日々の暮らしの中で、誰かに見守られている安心感が地域の支え合いの大きな力になっています。

一人ひとりを大切にする活動は、一人ひとりが大切にされる地域づくりにつながっています。

誕生月に花鉢をプレゼント



▲花鉢を手渡す高橋さん(中央)と縄田さん(右)

家や職場でもできる たすけあい

プルタブ・使用済み切手をお譲りください

木屋瀬校区社協(日の出クラブ Aブロック)の皆さま
星ヶ丘市民センターの皆さま
香月校区社協の皆さま
星和町内会の皆さま
古賀 義江さま

そのほか多くの皆さまに
ご寄付いただきました
ありがとうございます

八幡西区社会福祉協議会の 活動をご支援ください

ご寄付

みなさまからいただきましたご寄付は、社会福祉協議会の貴重な財源になっています。

広告料

やはた西社協だよりには有料広告を掲載する事業者等を募集しています。広告料は地域福祉のまちづくりにも生かされています。

配付先 / 八幡西区内の町内会加入世帯全戸、教育機関、社会福祉施設、市民センターなど

配布部数 / 約 68,500 部

発行 / 年4回(4月、7月、10月、1月)

規格 / 1 マスタ입 55×90mm (A4サイズの1/10)
1号あたり 15,000 円

規格 / 2 マスタ입 55×180mm (A4サイズの1/5)
1号あたり 30,000 円

※スペースに限りがあるため申込順となります

※内容により掲載をお断りする場合があります

社会福祉協議会の
活動を
応援したい!



資金面で
地域福祉に
貢献したい!

賛助会員

八幡西区社会福祉協議会の様々な福祉活動に賛同し、財政面から支えてくださる方が「賛助会員」です。

(年度)

会費 個人会員一口 1,000 円

団体会員一口 10,000 円



共同募金は、この広報紙発行にも役立てられています。

八幡西区ボランティアセンター

令和 6 年度 ボランティア講座

「住み慣れた地域で、私たちにできること」



▲左から池田校区社協 酒井会長 陣原地区社協 後藤副会長



▲トリコロキューブを体験する参加者の皆さん

2月28日(金)、穴生学舎にてボランティア講座を開催し、19名が参加しました。前半は、実際に地域で活動している方から、活動を始めたきっかけや心がけていること、失敗談等をお話してもらいました。参加者からは「自分が出来る範囲で活動に取り組んでいこうと思った」「ご近所の方とすれ違ったときは挨拶からはじめて声かけを増やしていきたい」等の意見がありました。

後半は、地域活動に取り入れやすいニュースポーツ「トリコロキューブ」を楽しみながら交流を深めました。「ありがとう!」「惜しいよ。もう少し」等、互いに声をかけ合って笑い声の絶えない講座となりました。

地域の応援団！福祉協力員の活動に参加しませんか？

福祉協力員とは、地域の困りごとや困っている人に「気づく」、関係機関に「つなぐ」、福祉の情報等を「届ける」活動を民生委員・児童委員と連携して行っています。

「できる人ができることを少しずつ」を合言葉に、無理のない範囲で活動をしています。

福祉協力員になってよかったこと ベスト3

- ①地域のいろいろな人と交流ができる
- ②さまざまな地域の情報が得られる
- ③地域の方に感謝される



わたしたち福祉協力員パンフレット▶



全2回

ふくしのまちづくり講座で延べ93人が学びました。

香月校区

テーマ「香月でず〜っと暮らしたい!〜いつまでもいきいきと安心して暮らすために〜」

1回目は、「認知症を正しく知ろう!〜手を取り合って支え合おう〜」をテーマに、認知症に関する正しい知識を学びました。認知症への理解を深め、地域全体で見守る大切さを共有しました。

2回目は「書こう、考えよう、わたしたちのこれから。香月のこれから」と題し、終活をテーマに実施。エンディングノートの書き方や、自分らしい生き方について考える時間を持ちました。

両日程とも最後は、住民同士が見守り、助け合える仕組み、ふくしのまちづくり計画についての講座を行いました。単身高齢者の増加や近所付き合いの変化など、地域にはさまざまな状況があり、これからの暮らしを支える地域との関わりが、より一層重要になってきています。参加者からは「高齢になり何とかせねばと思いながら過ぎ、今回学ばチャンスがきたと感じ参加した」「住みやすい香月を目指して、協力しあいたい」といった声が寄せられました。家族や地域とのつながりを再確認し、その未来を考えることで、地域福祉の充実に向けた第一歩となる講座となりました。



共同募金は、この広報紙発行にも役立てられています。

ココロ・ツナグ・作品展 令和7年9月8日～13日 開催予定！ (年長者・障害(児)者作品展)

八幡西区にお住まい(福祉施設をご利用)の年長者の方や障害のある方の生涯学習活動の振興と作品を通じた心のふれあいを深めるための作品展です。



お申込は7月下旬予定です。詳しくは次号(7月15日号)をご覧ください。

支援します
困りごとを共に考え
仕事や生活などの

ひとりで悩まず、相談してみませんか？



家計のやりくりが難しい

- 自立相談支援事業
- 就労準備支援事業
- 住居確保給付金の支給
- 家計改善支援事業



働きたいけど、なかなか仕事が決まらない

自立相談支援員が仕事や借金、家族関係などさまざまな理由で、経済的に困りの方のご相談をお聞きし、各種関係機関と連携しながら、共に考え、それぞれの状況に応じた支援を行います。

お問合せ先 **まずは電話でご予約ください。 相談無料**

八幡西区役所保健福祉課「いのちをつなぐネットワークコーナー」TEL 093-642-1334

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金		
	入院中の手術	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
賠償責任	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



共同募金は、この広報紙発行にも役立てられています。

